

## 中期目標

### 大項目

## I. 患者にとって最適な医療の提供

### 中項目

### 4. 質の高いがん医療

県内でがん治療を希望する県民を100%対応するため、  
県内の他の医療機関と連携する

#### 【期待する成果】

院内がん登録患者数を増やす

(1~12月実績)

H24年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
1,007人	常に前年度より改善させる				50%増

### 現 状

- 他府県と比べ、県外の医療機関を利用する人の割合が高い  
入院15.4%(全国第3位)  
外来15.8%(全国第4位) (厚生労働省 平成23年患者調査)
- がん薬物療法専門医、放射線治療専門医、緩和ケア専門医が  
県下に少ない

放射線治療専門医

11名(H24.11.19現在)

がん薬物療法専門医

6名(H25. 1.10現在)

緩和ケア専門医

0名(H24. 4. 1現在)

出典:第2期奈良県がん対策推進計画  
(関係学会等の公表データから県とりまとめ)

#### ※ 県立病院の現状

総合医療センターに放射線治療専門医1名のみ



# 中期計画

## 法人の決意

県内の医療機関と連携して県内でがん治療を希望する県民を100%受け入れるために、主体的な役割を果たす

## 取組項目

- ・手術療法、放射線療法、化学療法などがんの集学的治療の提供
- ・早期がんでなく他病院では診ることができない進行がんにも対応
- ・地域がん診療連携拠点病院としての機能の発揮
- ・人材の確保、養成

### 放射線治療件数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	7,063件					20%増 8,500件

### 外来化学療法件数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	2,066件					倍増 4,000件
西和	393件					倍増 800件

## 共通項目

- がん連携バスの稼働を促進し、地域の医療機関との連携の強化
- 人材の確保、養成
  - ・放射線治療専門医、がん薬物療法専門医、乳腺外科医、緩和ケア専門医、血液内科専門医 等
  - ・医学物理士、放射線治療品質管理士
  - ・がん薬物療法認定薬剤師、認定看護師、がん看護専門看護師

### 総合医療センター

- 手術療法、放射線療法、化学療法などがんの集学的治療の提供
  - ・早期がんでなく他病院では診ることができない進行がんにも対応
- 新病院の整備
  - ・最新医療機器（放射線治療機器3台）の導入
  - ・外来化学療法室の拡充（7台→20台）
  - ・緩和ケア病棟20床の設置

### 西和医療センター

- 手術療法の充実
- 外来化学療法の充実  
（放射線治療については新病院建設時に導入の検討）